

No.210  
2018  
2/27



# はちおうじ

JR東労組  
八王子地本

# 不当労働行為は許さない!

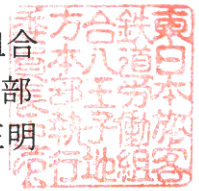
事実を歪曲して職場に混乱を持ち込むな!

嘘・誤魔化し・恫喝・強要

八地申 第17号  
2018年2月27日

東日本旅客鉄道株式会社八王子支社  
支社長 坂本 浩行殿

東日本旅客鉄道労働組合  
八王子地方本部  
執行委員長 金井 正明



一部経営幹部の「嘘・誤魔化し・恫喝・強要」による東労組に対する  
支配介入の不当労働行為を直ちにやめることを求める緊急申し入れ

JR東労組本部は、18春闘において「格差ベア」を根絶させるために確立しているストライキ権を含むあらゆる戦術行使の準備を背景に、闘申第1号の団体交渉を行い「ベースアップ実施にあたっては、所定昇給額を算出基礎とすることにご協力ください」との会社回答を受けたことにより闘争準備指令第1号および第3号の解除指令を発出しました。したがって、ベアの考え方に関する合意形成が図られたことにより、労使の紛争状態は解決したことを労使で確認しました。

しかし、会社は未だに一部経営幹部が激励と称した訓示にてJR東労組を名指しし「組合は一律定額ベアの実施を未来永劫求め続けている。また、100年先1000年先も一律定額ベアを確約しろと求めている」「3月15日のストライキは変わっていない」と事実無根の情報操作が行われています。また、点呼の際に現場長から「まだ判断していない奴がいる。そんな管理者は失格だ」「ストライキに参加したら将来にわたって昇進試験に受からない」との恫喝が行われ、組合員の混乱と動揺を一層助長させています。さらに、運輸職場では、現場長が特定の組合員を呼び出し「社員の皆さんへ」を読み上げられ「ストライキについてどう思う、会社についてどう思う」などの陰湿な行為が繰り返されています。これらの行為は、正当な労働組合活動への支配介入であり、JR東労組脱退を強要していることに他なりません。

これまで会社が行ってきた組合主張や団体交渉の労使確認事項を意図的に捻じ曲げ混乱を持ち込むやり方は到底認めることはできません。また、未だ続けて行われている、あからさまな脱退強要を断じて認めません。不当労働行為に対しては直ちにその行為をやめることを強く求めます。さらに、すべての不当労働行為に対しては、あらゆる手段をもって真実を明らかにさせていきます。

したがって、下記の通り申し入れますので、会社の真摯な回答を要請します。

記

1. 一部経営幹部による正当な労働組合活動に関する支配介入の不当労働行為を直ちにやめること。

以上